

Title	日本語・日本文化研究 第31号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 31 p.225
Issue Date	2021-12-01
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/85227
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

執筆者紹介（目次順）

柴田芳成	（本学日本語日本文化教育センター准教授）
薦 清行	（本学日本語日本文化教育センター准教授）
何 問民	（本学博士後期課程 D3）
松浦幸祐	（本学博士後期課程 D3）
道上史絵	（本学博士後期課程 D3）
汪 聞君	（本学博士後期課程 D3）
包 雅梅	（本学博士後期課程 D2）
茶園直人	（本学博士後期課程 D2）
チャランボン スパーナン	（本学博士後期課程 D2）
ヘッティヤーハンディ ワッサラー ディシルワ	（本学博士後期課程 D2）
頼俊雯	（本学博士後期課程 D2）
ヴルボウスキー マテイ	（本学博士後期課程 D2）
ラーマナ ヌル アリニ	（本学博士後期課程 D1）
ラマダン ヘバ マフラン	（本学博士後期課程 D1）
周 利	（本学博士後期課程 D1）
コン イエンピン	（本学博士前期課程 M2）
高 子瑜	（本学博士後期課程 D2）

（2021 年 6 月現在）

編集後記

『日本語・日本文化研究』第31号をお届けする。25件のエントリーがあり、最終的に17本の論文が掲載に至った。執筆者の方々、査読をしてくださった先生方に謝意を表したい。

今年度から、日日専攻には櫻井千穂先生と鴻野知暁先生が加わった。また、今年度も日日専攻の助教の秦秀美先生に、本紀要の編集にご尽力いただいた。

実は、日本語・日本文化専攻の紀要として本誌を発行するのは、本号が最後となる。今年度をもって本専攻は10年間の歴史に幕を下ろし、現日日専攻のスタッフは、来年度発足する人文学研究科日本学専攻応用日本学コースに属することになる。来年度以降、本誌がどうなるのかは未定だが、本誌共々、同コースの行末を温かく見守っていただきたい。(Ym)

日本語・日本文化研究 第31号

令和3年12月1日

編集者：大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻
『日本語・日本文化研究』編集委員会

発行所：〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5-10

大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

印刷所：〒531-0072 大阪市北区豊崎4丁目6番3号

株式会社 アイジイ